



あ か ば 赤羽かずよし

小さなパン屋の息子として生まれる。62歳。ラグビー元全日本高校選抜。慶應義塾大学卒。三井物産勤務を経て衆院当選8回。現在、国土交通大臣。元財務副大臣、元経済産業副大臣。原子力災害現地対策本部長、衆院国土交通委員長など歴任。公明党兵庫県本部代表。

ゲンバの赤羽「国土交通大臣」

豪雨や地震災害の被災地に一番に足を運び、被災者とともに復旧復興に懸命。国県市一体の流域治水、ハードソフト両面の抜本的な防災減災対策を推進。コロナ禍で危機的状況にある観光運輸関連業を支援し、地方経済と雇用を支える。

奨学金の拡充とバリアフリー

成績要件を撤廃、給付型も創設し、誰もが利用できる奨学金を実現。駅や公共施設のエレベーター、エスカレーター、障がい者用トイレの設置、新幹線のフリースペースの大幅拡充などで、バリアフリー社会を推進中。

神戸西宮の発展と災害支援金

北神急行線の運賃半額化、新神戸トンネルの通行料値下げ、国道176号の拡幅や湾岸道路西伸部の工事促進、スパコンの神戸誘致、有馬温泉や商店街の振興、空き家対策に取り組み中。阪神淡路大震災の被災経験から「使途自由」「所得制限無し」で支援金を支給する被災者生活再建支援法を実現。

「ゲンバの赤羽」の政策編

- 1 赤羽のゲンバ 「まずはコロナの収束」**
国難ともいふべき新型コロナウイルスの世界的大流行の中、何よりも政治に求められているのは、感染症の脅威から国民の命と健康、そして生活を守ることです。感染拡大防止と社会・経済活動を両立させ、中小企業支援や個人の生活支援に政策を総動員して、国民の安全・安心を取り戻し、再び発展、繁栄への道筋を切り開いてまいります。
- 2 赤羽のゲンバ 「不妊治療の保険適用」**
不妊治療の負担軽減について公明党は1998年以降、国会・地方議員が一体となって保険適用を求める質問、署名活動などを行ってきました。菅首相は「公明党の皆さんから不妊治療の助成金拡大や保険適用に強い要請を受けている。できるだけ早く保険適用ができるようにしたい」と明言。長年にわたる公明党の訴えが実を結ぶよう、内閣の一員としてしっかりと後押しします。
- 3 赤羽のゲンバ 「防災減災」**
国土交通大臣就任の前からも、そしてその後も、東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨災害・令和元年東日本台風など、激甚災害の被災地を訪問し、被災者の皆さんと一緒に復旧復興に取り組みできました。災害からの復旧復興や防災減災はゲンバから。激甚化頻発化する自然災害や感染症から、皆様の命と暮らしを守る抜本的な防災減災政策を推進します。
- 4 赤羽のゲンバ 「観光の推進」**
観光業が大きな打撃を受けている今、安全・安心を最優先に考えた上で、地方創生の柱である観光業の回復と発展に最善を尽くします。心配する声もたくさんいただきました。国民の皆様と一緒に感染対策に十分取り組みながら、旅行代金の割引を行う「GOTOトラベルキャンペーン」で観光業を応援します。
- 5 赤羽のゲンバ 「交通事故の撲滅」**
子供の犠牲や、高齢ドライバーの事故など、痛ましい自動車事故が相次いでいます。2019年11月、自動車事故の被害に遭われたご家族にお会いし、無念と苦しみを伺いました。あらゆる施策を総動員して交通事故を撲滅します。また、新幹線の空きスペース利用や各駅でのバリアフリー化を始め、ホームドアの設置を着実に進めます。



公式ウェブサイト
赤羽かずよし



Twitter公式アカウント
@AKBhyogo2ku



LINE サポートーズの
登録募集中！



あ か ば ・ ナ ウ
赤羽NOW

公明党衆議院小選挙区
兵庫第2総支部ニュース vol.59

兵庫
2区 神戸市兵庫区・北区・長田区
西宮市 (山口支所管内・塩瀬支所管内)

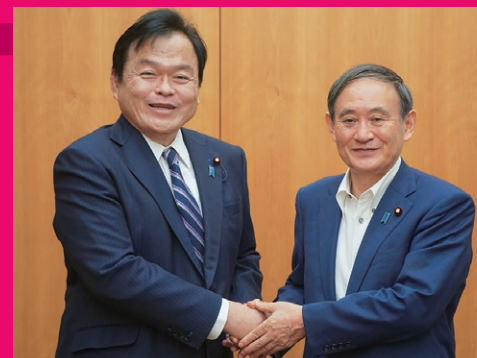


国土交通大臣
衆議院議員



「菅内閣でも国土交通大臣」

2020年9月、菅内閣が発足し国土交通大臣に再任されました。首相交代は7年9カ月ぶり。派閥に属さず、世襲議員でもない首相は自民党政権で事実上初。菅内閣は、縦割り行政の打破や規制改革の断行、「デジタル庁」創設とともに、まずは新型コロナウイルスの感染収束と日本経済の立て直しに全力を挙げています。赤羽かずよしは、国民の皆様と暮らしを守る国土交通行政の責任者として、「防災減災」「コロナ対策」「観光促進」などを強力に推進して参ります。



観光回復、強く。 赤羽かずよし(国交相)に聞く

Go Toで地方経済を応援
豪雨対策 流域治水を進める

新たな菅内閣で赤羽かずよしが、国土交通大臣として再任されました。
国土交通大臣として様々な課題への取り組みを聞きました。

——再任された決意を。

赤羽 国交省が所管する分野は国民の命と暮らし、また、地域経済に直結しています。公明党出身の閣僚として徹底して現場主義を貫き、しっかりと諸課題に対応する決意です。特に、新型コロナウイルス禍における感染拡大防止と経済・社会活動の両立に力を注いでまいります。

——具体的には。

赤羽 地方創生に貢献する観光への支援が喫緊の課題です。観光関連産業は、宿泊業や飲食業、交通など幅広く、観光は全国で約900万人の雇用を支えています。こうした中、地方経済を応援するために7月から開始した「Go To トラベル」事業の利用者は8月末までに1339万人となり、着実に増えています。10月1日からの

東京発着分の旅行が同事業の対象に加わりますが、感染防止に取り組みながら引き続き観光回復への支援に力強く取り組みます。

また、感染リスクのある中、人々の生活を支えているタクシーやバスなどの公共交通事業者も厳しい経営状況に置かれています。ここもしっかりと応援してまいります。

——台風や集中豪雨など、激甚・頻発化する風水害への対応は。

赤羽 国土交通大臣に就任した直後から、台風15号、そして台風19号と、これまで30回近く被災地に足を運びました。2020年度までの3年間を防災・減災、国土強靱化のための集中期間として、取り組んできましたが、来年度以降も予算を

確保し、国と都道府県、市町村が一体となって中長期的な防災・減災に取り組めるよう進めていきます。

特に、近年の豪雨災害を踏まえ、国と地方が一体となり、流域全体で治水を行うプロジェクトを進めます。

——高齢社会に対応する取り組みも求められます。

赤羽 これまで新幹線などの交通機関や公共施設、道路のバリアフリー化を進めてきました。真の共生社会の実現へ、高齢者や障がい者に寄り添いながら、ハードとソフト両面で、さらにバリアフリーを推進します。近年、高齢ドライバーを巡る交通事故が多発している現状を踏まえ、安全対策の強化も進めてまいります。

公明新聞(2020年9月23日号)から



コロナ禍の有馬は約3カ月間の休業で大ピンチ。GoTo トラベルを始め各種政策で経営を応援します。



北神急行線の市営化で運賃半減を実現。駅周辺計画で地元市長と懇談。人口増加に期待膨らむ。



道の駅「淡河」は地元野菜が豊富に販売される利用客が多い人気スポットです。今後も全力で応援します。



千刈ダム治水活用工事が始まりました。台風や大雨時に地域の安全を守る重要な役割を果たします。



自治会や地元住民の皆さんと大池見山東砂防堰堤の現場を視察。安心に暮らせる地域を実現します。



まずは地元！ 利便性を拡大——。

皆さんと長い間取り組んできた北神急行電鉄の運賃軽減は、市営化で半額が実現、関係者の皆様のご苦勞に心から感謝します。また、国道176号線の拡幅、湾岸道路西伸部の工事も着実に前進しています。兵庫区・北区・長田区・西宮市の発展と利便性の向上は私のライフワークです。



新幹線の車いすスペースを増設



2020年8月3日 新幹線の車いすスペースの実証実験に参加

新幹線の車いすスペースを現在の1編成1～2席から3～6席に増やします。インターネットによる利用予約・購入手続きも可能になり、利便性が向上します。



障がい者団体のDPI日本会議の佐藤聡事務局長

「真の共生社会実現への道しるべとなる素晴らしい内容です。今までは、車いすに乗ったままでは通路にはみ出してしまい、車内販売のワゴンなどが通るたびにデッキに出なければなりませんでした。(中略)赤羽一嘉国交大臣をはじめ公明議員の皆さんは、新幹線の車いすスペース実証実験に参加するなど、当事者の目線に対応してくれました。こうした取り組みが今回の取りまとめにつながったと思います。心から感謝しています」

全国民に
ワクチンを確保

新型コロナ対策最優先！
命を守る
政治を推進。

間もなく召集される臨時国会で新型コロナ対策の新たな取り組みが実現します。来年前半までに全国民のワクチン接種を可能にするほか、万が一健康被害が出た場合も国が救済。あわせて新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、PCR検査や抗原検査などの態勢も整えます。



高齢運転者の事故ゼロへ——



2019年11月20日 関東交通犯罪遺族の会(あいの会)から要望

2020年6月、道路交通法を改正しました。高齢ドライバーの事故を未然に防ぐため、75歳以上を対象に「運転技能検査」や「サボカー限定免許」を導入しました。



関東交通犯罪遺族の会(あいの会)の小沢樹里代表

「多くの犠牲の上に成り立った今回の道交法改正であり、少しずつでも安全・安心の道路へ変わっていくよう願っています。昨年11月、赤羽国土交通大臣は、私たち遺族との面会に異例の長い時間を取り「ただ聞いているだけでなく、結果を報告できるように頑張る」と言ってくれました。その言葉通り、国土交通省はサボカーの自動ブレーキ機能を過信しないよう促す啓発ビデオを作成するなど、迅速な対応に感謝しています」

全国民に
ひとり一律10万円を支給

新型コロナの感染拡大により日本全国に緊急事態宣言が出されました。子どもたちの休校によって働けなくなる人、休業によって仕事なくなった人、収入が大幅に減少した人など、先が見通せずに困っている人に政治ができること。一部の世帯に30万円の支給という案をくつがえし、すべての国民一人につき10万円の支給を主張し、実現に道筋をつけました。



陸と海と空の 安全を守る——。



「ゲンバの赤羽」が信条です。豪雨や地震災害などの被災地にまず足を運び、被害に遭った方と一緒に復旧復興に取り組んでいます。国と県と市が一体となって抜本的な防災減災対策を推進しています。また、新型コロナの拡大で危機的状況にある観光や運輸関連業を支援し、地元経済と雇用を支えます。



令和2年8月26日 令和2年7月豪雨により被災した大分県日田市の天瀬地区及び筑後川浸水箇所などを視察しました。



令和2年7月24日 令和2年7月豪雨の被災場所である岐阜県下呂市の国道41号道路崩壊・JR高山本線被災箇所を視察しました。



令和2年7月16日 令和2年7月豪雨により被災した熊本県人吉市の球磨川氾濫箇所や西瀬橋流出箇所など、複数の現場を視察しました。



令和元年10月20日 台風19号により大きな被害を受けた福島県郡山市内の被災状況について郡山市長と意見交換をしました。



令和元年10月5日 平成30年7月豪雨で土砂災害被害を受けた広島県呉市天応地区の復旧・復興状況を視察しました。

医療・介護・障がい福祉の
現場に慰労金



当初、新型コロナの感染対策のための第2次補正予算案に医療従事者への慰労金給付があるのに、介護従事者への給付金はありませんでした。献身的に高齢者の命と暮らしを支える過酷な介護現場の人々の訴えに応じて、医療従事者に加え「介護・障がい福祉従事者等への慰労金支給」を実現したのです。

持続化給付金と
家賃支援給付金を実現



全国から寄せられる要望の声に応え、新型コロナによる減収で悩む事業者のために実現した持続化給付金。さらにその拡充にも取り組みました。創業直後の事業者や、税の申告方法によって支給対象から外れていたフリーランスの方を対象とするよう要望。「前例無し」と嫌がる省庁を押さえ込み、対象に追加しました。

